

平成27年度(レポート対象期間:H27.4.1~28.3.31)

エコアクション 21

環境活動レポート



※ 認証範囲

<一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処分量>

有限会社 長嶋商店

〒420-0875

静岡県静岡市葵区美川町4番5号

TEL 054-271-2440

FAX 054-271-1607

発行日：平成28年9月30日



2. 環境活動レポート 目次

項目及び内容	ページ
1. 表紙 (ea 2 1 認証・登録範囲、レポート対象期間及び発行日)	1
2. 環境活動レポート目次	2
3. 組織の概要	3
① 事業の概要	4
② 廃棄物処理業に関する情報公開項目	5 6
③ 実施体制	7
4. 環境方針	8
5. 環境目標	9
① 環境中期目標	10
② 環境短期目標	10
6. 環境活動計画	11
① 主要な環境活動計画	11
② 平成27年度環境活動計画表	12
7. 環境目標（短期）の実績評価	13
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容	14
① 環境活動の実施状況とその評価・結果	15
② 環境目標の達成状況とその評価・結果	16
③ 平成27年度環境活動計画実施状況確認表	17
④ 問題点の是正処置及び予防処置の結果	18 19
⑤ 平成28年度環境活動計画表	20
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違反・訴訟の有無	21
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	22 23

3. 組織の概要

【① 事業の概要】

[1] 事業所及び代表者名

有限会社 長嶋商店
代表取締役 長嶋 捷治

[2] 所在地

本社事務所・倉庫 静岡市葵区美川町 4 番5号 TEL 054-271-2440
FAX 054-271-1607

中間処分工場 静岡市葵区美川町5番1号(本社事務所・倉庫に隣接)

[3] 環境管理責任者

環境管理責任者 長嶋 明彦

[4] 連絡先

環境管理事務局 長嶋 久美子
TEL(本社): 054-271-2440 FAX 054-271-1607
MAIL: nagashima-shoten@amail.plala.or.jp
ホームページ : <http://www.nagashima-shoten.com/>

[5] 事業の内容

一般廃棄物業・廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処分量
金属古物商(実績無し)

[6] 事業の規模

法人設立	昭和62年7月31日	資本金	300 万円
従業員数	29名 (経営者を含む)	エコアクション21 に関わる員数	22名 (パート7名→2名換算、 及び2名出向)
敷地面積	924m ²	建物床面積	664.2m ²
事業年度	期首 4月1日 期末 翌年3月31日		

[7] 活動規模

項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	百万円	252	240	207
処理実績	情報公開項目参照			

【② 廃棄物処理業に関する情報公開項目】

[1] 許可の内容（一般・産業廃棄物処理業及び古物商等許可の内容）

許可権者	許可番号	許可の有効期間	許可事業の区分・廃棄物の種類
静岡県知事	02202 053335	H26.2.10～ 31.2.9	産業廃棄物収集運搬(積替え及び保管行為を除く) (種類) 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず、がれき類、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ 以上9品目
山梨県知事	01900 053335	H26.6.4～ 31.6.3	産業廃棄物収集運搬(積替え保管無し) (種類) ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)、陶磁器くず 以上1品目
静岡市長	06221 053335	H24.5.31～ 29.5.30	産業廃棄物処分量 中間処分 (区分) 焼却—廃油、金属くず 破碎—廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラ スクず・コンクリートくず及び陶磁器くず 圧縮—金属くず 溶融—廃プラスチック類 (種類) 廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
静岡市長	10005	H28.4.1～ 30.3.31	一般廃棄物収集運搬業 事業系一般廃棄物及び 特定家庭用機器再商品化対象物
静岡県 公安委員会	公委静中333号	S49.4.4 (交付日)	古物商
静岡県 公安委員会	公委静中184号	S49.4.4 (交付日)	金属くず商

[2] 施設の状況 (平成 28 年 9 月現在)

車両の種類	最大積載量	台数	最大積載量	台数
塵芥車(プレス式) 計 11 台	1800kg	1台	2000kg	2台
	2950kg	1台		
	3000kg	1台	3600kg	2台
	4800kg	1台	5000kg	1台
	5100kg	1台	5900kg	1台
キャブオーバー車 計 7 台	2000kg	1台	3250kg	1台
	3000kg	2台		
	3000 kg (ユニット)	1台	350 kg (軽四輪)	2台
脱着式平ボディ車 (アームロール) 計 1 台	4000kg	1台	—	—
重機の種類		台数	/	
解体ユンボ		1台		
ショベルローダ		1台		
フォークリフト		2台		
計量器		1台		
合計		車両 19 台 作業重機 5 台		

工場設備

破碎設備	二軸破碎機(新居浜鉄工所)ライオンシュレッダーNS-302TH * 品目別一日処理能力(8時間) 廃プラスチック類 4.56t 紙くず 4.48t 木くず 4.48t 金属くず 12.24t ガラス・コンクリート及び陶磁器くず 20.56 t	1機
圧縮設備	金属プレス(アリゲータプレス AP1258型)	1機
	ペットボトルプレス(佐々木コーポレーション)	1機
溶融設備	溶融機(パナケミカル)クリーンヒートパッカーE6型	1機
焼却設備	1HG-400 MODEL ジェットパワー焼却炉(水冷式、29kg/h)	1機
選別装置	金属選別装置	1機
変電設備	2次電気工事(動力150kw/電灯20kw)	—

[3] 処理実績

	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度
産業廃棄物収集運搬量及び中間処分量	t	1,508.4	781.3	716.2
一般廃棄物収集運搬量	t	3,381.3	3,222.5	3,146.8
合計	t	4,889.7	4,003.8	3,863.0

[4] 廃棄物処理料金

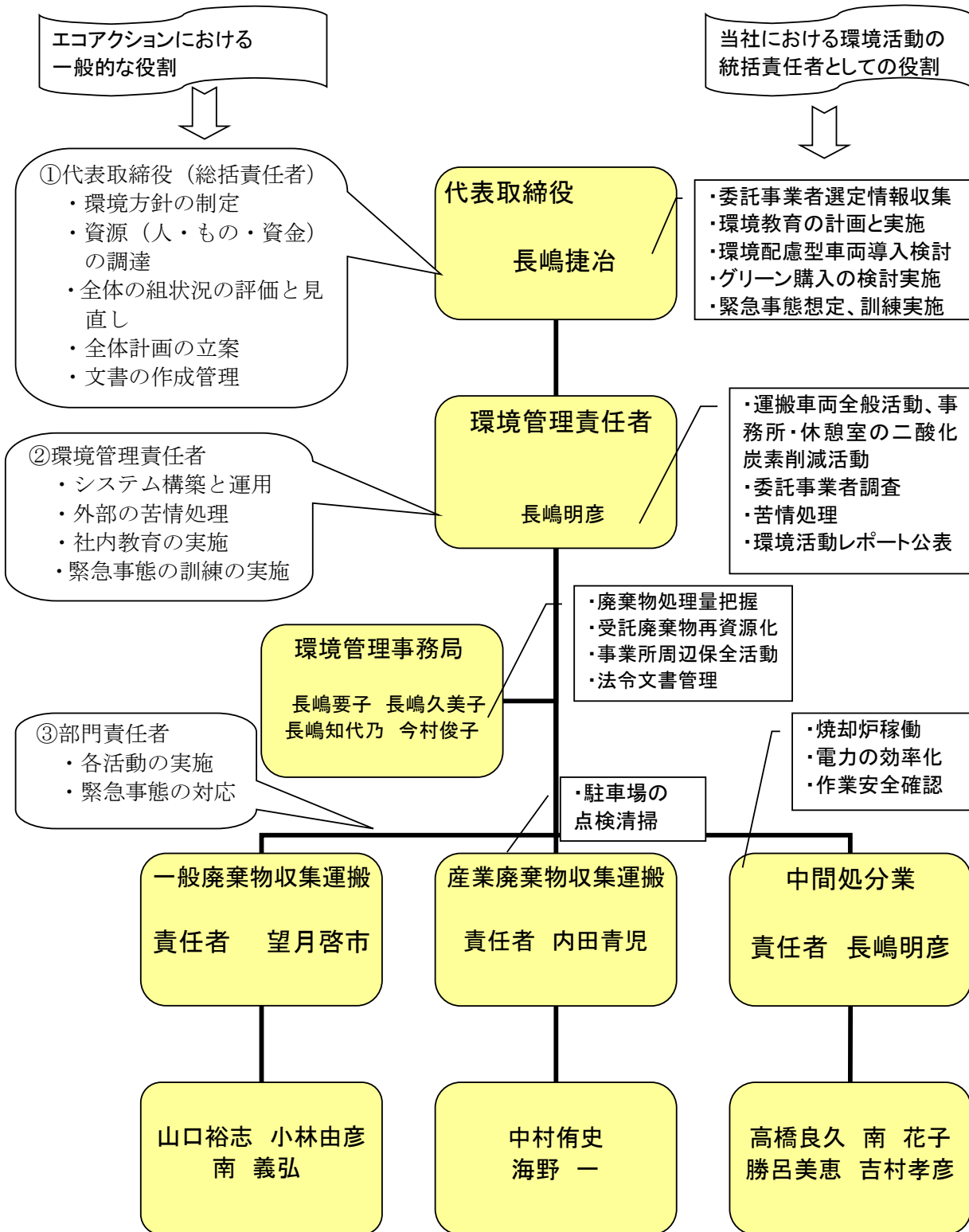
廃棄物の内容及び運搬等により料金が異なりますのでご相談下さい。見積は無料です。

[5] 廃棄物処理の流れ



【③ 実施体制】

環境経営システム組織図



4. 環 境 方 針

基本理念

当社は廃棄物収集運搬・廃棄物処理事業を行っており、循環型社会構築の第一線を担う事業者として環境マネジメントシステムを積極的に取り組むことにより環境保全に貢献します。

行動指針

当社は、基本理念の実現に向けて以下のことに取り組みます。

- I 収集運搬車両のエコドライブを実施し、中間処理施設の省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- II 受託した産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率の向上と適正処理を図ります。
- III 環境教育及び緊急事態訓練を実施し、環境活動や安全に対する理解と意識の向上を図ります。
- IV 排出事業者と情報交換や分別指導を行い、環境活動レポートを公表し、地域社会とコミュにケーションを図ります。
- V 作業の安全に配慮し、火気・臭気・騒音・粉塵・汚水に細心の注意を払い、事業所周辺の環境保全に努めます。
- VI 環境に配慮した車両の導入や物品の購入を図ります。
- VII 環境関連法令の遵守を誓約します。

平成18年7月31日制定

平成20年5月31日改定

平成24年3月30日改定

有限会社 長嶋商店

代表取締役 長嶋 捷治



5. 環境目標

環境目標は以下のとおりとする。

- ・二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総水使用量については、平成26年度実績を基準に削減目標とする。
- ・産業廃棄物委託事業者の適正処分(リサイクル)を定期的に確認(調査)する。
- ・契約事業者に対する分別指導定期的に実施する。
- ・中間処分後のリサイクル率の向上(100%に近付ける)を目指す。

【① 中期目標】

[1] 二酸化炭素排出量 ☆は環境効果指標による削減目標数値

項目	平成26年度実績	平成27年度目標	平成28年度目標	平成29年度目標
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	237,356 (100.0%)	236,169 (99.5%)	234,982 (99.0%)	233,795 (98.5%)
収集運搬量1tあたり (kg-CO ₂ /t) ☆	59.3 (100.0%)	59.0 (99.5%)	58.7 (99.0%)	58.4 (98.5%)
購入電力排出量 排出係数 0.518 (kg-CO ₂)	20,798 (100.0%)	20,694 (99.5%)	20,590 (99.0%)	20,486 (98.5%)
購入電力消費量 (kwh)	40,151 (100.0%)	39,950 (99.5%)	39,749 (99.0%)	39,548 (98.5%)
灯油排出量 (kg-CO ₂)	22,818 (100.0%)	22,703 (99.5%)	22,589 (99.0%)	22,475 (98.5%)
灯油消費量 (ℓ)	9,157 (100.0%)	9,111 (99.5%)	9,065 (99.0%)	9,019 (98.5%)
ガソリン排出量 (kg-CO ₂)	29,366 (100.0%)	29,219 (99.5%)	29,072 (99.0%)	28,925 (98.5%)
ガソリン消費量 (ℓ)	12,649 (100.0%)	12,585 (99.5%)	12,522 (99.0%)	12,459 (98.5%)
軽油排出量 (kg-CO ₂)	164,372 (100.0%)	163,550 (99.5%)	162,728 (99.0%)	161,906 (98.5%)
軽油消費量 (ℓ)	62,634 (100.0%)	62,320 (99.5%)	62,007 (99.0%)	61,694 (98.5%)
収集運搬量1tあたり (ℓ/t) ☆	15.6 (100.0%)	15.5 (99.5%)	15.4 (99.0%)	15.3 (98.5%)

[2] 総水使用量

項目	平成26年度実績	平成27年度目標	平成28年度目標	平成29年度目標
水道水 (m ³)	1,221 (100.0%)	1,214 (99.5%)	1,208 (99.0%)	1,202 (98.5%)

[3] 廃棄物排出量(事業所内)

項目	平成26年度実績	平成27年度目標	平成28年度目標	平成29年度目標
紙・びん・缶・ペットボトル厨芥ごみ(kg)	696 (100.0%)	692 (99.5%)	689 (99.0%)	685 (98.5%)

[4] 委託事業者の定期調査実施(毎年実施)

[5] 契約事業者に対する分別指導(毎年実施)

[6] 中間処分後のリサイクル率の向上(100%に近付ける)

【② 短期目標】

運用期間 平成27年4月～28年3月 削減目標の基準は平成26年度実績に対するものとする。

[1] 二酸化炭素排出量 ☆は環境効果指標による削減目標数値

項目	平成26年度実績	平成27年度目標
二酸化炭素排出量 (kg-CO ²)	237,356 (100.0%)	236,169 (99.5%)
収集運搬量1tあたり (kg-CO ² /t) ☆	59.3 (100.0%)	59.0 (99.5%)
購入電力排出量 排出係数 0.518 (kg-CO ²)	20,798 (100.0%)	20,694 (99.5%)
購入電力消費量 (kwh)	40,151 (100.0%)	39,950 (99.5%)
灯油排出量 (kg-CO ²)	22,818 (100.0%)	22,703 (99.5%)
灯油消費量 (ℓ)	9,157 (100.0%)	9,111 (99.5%)
ガソリン排出量 (kg-CO ²)	29,366 (100.0%)	29,219 (99.5%)
ガソリン消費量 (ℓ)	12,649 (100.0%)	12,585 (99.5%)
軽油排出量 (kg-CO ²)	164,372 (100.0%)	163,550 (99.5%)
軽油消費量 (ℓ)	62,634 (100.0%)	62,320 (99.5%)
収集運搬量1tあたり (ℓ/t) ☆	15.6 (100.0%)	15.5 (99.5%)

[2] 総水使用量

項目	平成26年度実績	平成27年度目標
水道水 (m ³)	1,221 (100.0%)	1,214 (99.5%)

[3] 廃棄物排出量(事業所内)

項目	平成26年度実績	平成27年度目標
紙・びん・缶・ペットボ トル厨芥ごみ(kg)	696 (100.0%)	692 (99.5%)

[4] 委託事業者の定期調査を実施する

[5] 契約事業者に対する分別指導する

[6] 中間処分後のリサイクル率を100%に近付ける

6. 環境活動計画

【① 主要な活動計画】

		環境活動内容	統括責任者	実施責任者
I 二酸化炭素、水使用量、廃棄物排出量削減				
①車両関係	ア	エコドライブ運転取組	長嶋明彦	望月啓市
	イ	燃料消費集計		内田青児
	ウ	適正な収集ルートの方策		望月啓市
	エ	車両の整備		望月啓市
②中間処分 施設関係	ア	焼却炉稼働記録	長嶋明彦	長嶋明彦
	イ	電力使用設備稼働の効率化		長嶋明彦・勝呂美恵
	ウ	冷却水管理		長嶋明彦
	エ	作業安全確認		内田青児
	オ	火気・臭気・騒音・粉塵・汚水確認		内田青児
③水道関係	ア	地下水使用量集計	長嶋明彦	勝呂美恵
	イ	水漏れ管理		勝呂美恵
④事務所・ 休憩室関係	ア	電力消費管理（温度、照明、PC、コピー機）	長嶋明彦	勝呂美恵・南花子
	イ	びん・缶・ペットボトル分別計測		勝呂美恵・南花子
	ウ	紙・厨芥ゴミ分別計測		勝呂美恵・南花子
II 受託した廃棄物の再資源化、リサイクル率向上				
①		廃棄物処理量の把握	長嶋久美子	今村俊子
②		委託事業者の調査実施（現地確認）	長嶋明彦	長嶋明彦
③		委託事業者選定に係る情報収集	社長	長嶋明彦
III 教育及び緊急事態訓練の実施				
①		環境教育の計画と実施	社長	長嶋明彦
②		緊急事態想定、手順書の策定と訓練実施		長嶋明彦
IV コミュニケーション				
①		排出事業者との情報交換・分別指導	長嶋明彦	長嶋明彦
②		苦情処理受付記録		長嶋明彦・長嶋久美子
③		環境活動レポートの公表（HPへアップ）		長嶋明彦・長嶋知代乃
V 事業所周辺環境保全活動				
①		騒音測定記録	長嶋久美子	内田青児
②		駐車場の点検清掃	内田青児	内田青児
VI 環境に配慮した物品調達				
①		環境配慮型車両の導入検討	社長	
②		グリーン購入の検討実施	社長	
VII 法令遵守、文書管理				
①		法令確認、マニュアル管理	長嶋久美子	今村俊子・長嶋久美子
②		エコアクション21関連記録・文書とりまとめ	長嶋久美子	長嶋久美子

【② 平成 27 年度環境活動計画表】

	環境活動内容		実施責任者	担当者	平成 27 年 4 月 ~ 28 年 3 月													
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
I 二酸化炭素・水 廃棄物削減	①車両関係	ア エコドライブ運転取組	イ 燃料消費集計	望月啓市 内田青児	作業員全員	運行前に車両整備、ルート確認 運行後に省エネ運転取組の自己チェック表記入												
		ウ 適正な収集ルートの策定	エ 車両の整備															
	②中間処分 施設関係	ア 焼却炉稼働記録	イ 電力使用設備稼働の効率化	長嶋明彦 勝呂美恵 内田青児	現場担当者	作業開始前、作業中、作業後に確認、稼働記録への記入												
		ウ 冷却水管理	エ 作業安全確認															
オ 火気・臭気・騒音・粉塵・汚水確認																		
③水道関係	ア 地下水使用量集計	イ 水漏れ管理	勝呂美恵	勝呂美恵	毎日 地下水メータ・水漏れ確認、集計表への記入													
	④事務所・ 休憩室関係	ア 電力消費管理（温度、照明、PC、コピー機）	南花子	現場担当者 勝呂美恵	毎日 使用時確認													
イ びん・缶・ペット分別計測	ウ 紙・厨芥ゴミ分別計測																	
II 再資源化	①	廃棄物処理量の把握		今村俊子	今村俊子	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	
	②	委託事業者の調査実施（現地確認）		長嶋明彦	長嶋明彦	委託事業者を年 1 回以上調査、情報収集は随時												
	③	委託事業者選定に係る情報収集		長嶋明彦	長嶋明彦													
III 教育	①	環境教育の計画と実施		長嶋明彦	長嶋明彦			実施					実施					
	②	緊急事態想定、手順書の策定と訓練実施		長嶋明彦	長嶋明彦				実施						実施			
IV コミ ュニ	①	排出事業者との情報交換・分別指導		長嶋明彦	長嶋明彦	情報交換、苦情処理等 随時												
	②	苦情処理受付記録		長嶋明彦	長嶋久美子													
	③	環境活動レポートの公表（HPへアップ）		長嶋明彦	長嶋千代乃					UP								
V 保全	①	騒音測定記録		内田青児	内田青児	騒音測定		騒音測定		騒音測定		騒音測定		騒音測定		騒音測定		
	②	駐車場の点検清掃		内田青児	吉村孝彦	毎日											▶	
VI 調達	①	環境配慮型車両の導入検討		社長	社長	随時											▶	
	②	グリーン購入の検討実施		社長	社長	随時											▶	
VII 法令	①	法令確認、マニフェスト管理		長嶋久美子	長嶋久美子	毎月											▶	
	②	エコアクション 2.1 関連記録・文書とりまとめ		長嶋久美子	長嶋久美子	毎月											▶ 集計	

7、11、3月
実施状況確認

7. 環境目標(短期)の実績評価 運用期間 平成27年4月～28年3月

[1] 二酸化炭素排出量 ☆は環境効果指標による削減目標数値

項目	目標数値	実績数値	達成○ 不可×	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO ²)	236,169	217,686	○	排出量削減目標に対して92.1%、環境効果指標削減目標に対して95.4%であった。ガソリン及び軽油使用量減少により、削減目標が達成できた。
収集運搬量 1tあたり (kg-CO ² /t) ☆	59.0	56.3		
購入電力排出量 排出係数 0.518 (kg-CO ²)	20,694	21,558	×	削減目標に対して104%・1668kwh増加、購入電力全般で増加した。このうち高圧電力は中間処理の破碎・圧縮に使用しており、ここでの消費量が大きい。
購入電力消費量 (kwh)	39,950	41,618		
灯油排出量 (kg-CO ²)	22,703	11,609	○	削減目標に対して51.1%・4452ℓ減少した。前年度に増加した焼却炉の稼働率が今年度は減少し消費量も大きく減少したことが大きな要因である。
灯油消費量 (ℓ)	9,111	4,659		
ガソリン排出量 (kg-CO ²)	29,219	26,810	○	削減目標に対して91.7%・1038ℓ減少した。ガソリン使用重機の稼働が減少したことに加えて、エコドライブの効果がみられる。
ガソリン消費量 (ℓ)	12,585	11,547		
軽油排出量 (kg-CO ²)	163,550	157,708	○	目標に対して96.4%、収集運搬量の減少(昨年度収集運搬量4003.8t、本年度3863t、96.4%)により車両走行距離の減少が大きな要因である。一方、環境評価指標削減目標は100%であったことから、全体的にみるとエコドライブの成果が表れていると評価できる。
軽油消費量 (ℓ)	62,320	60,094		
収集運搬量 1tあたり (ℓ/t) ☆	15.5	15.5		

[2] 総水使用量

項目	目標数値	実績数値	達成○ 不可×	評価
水道水 (m ³)	1,214	1447	×	目標に対して119.2%・233m ³ 増であり、発砲スチロール溶融工程(冷却)のため使用量が増加した。

[3] 廃棄物排出量(事業所内)

項目	目標数値	実績数値	達成○ 不可×	評価
紙・びん・缶・ペットボトル厨芥ごみ(kg)	692	998	×	目標に対して144.2%・306kg増加であった。夏場の飲料関係と厨芥ごみの増加である。水気をしっかり切り切り分別を徹底する。

[4] 委託事業者の定期調査 ○ ⇒ 実施済み 現地調査確認記録に記載

[5] 契約事業者に対する分別指導する ○ ⇒ 実施済み コミュニケーション記録に記載

[6] 中間処分後のリサイクル率を100%に近付ける ○ ⇒ リサイクルに不向きな質の悪い状態のもの等を除いて、再利用・再生利用・原料化されている。

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容

【① 環境活動の実施状況とその評価・結果】 ※是正の処置・予防の処置による改善点の実行

[1] 活動の様子

① 環境目標（環境効果指数）の策定

今年度から環境効果指標に基づき削減目標を掲げた。(P9 参照)

[1] 二酸化炭素排出量 ☆は環境効果指標による削減目標数値

項目	平成26年度実績	平成27年度目標
二酸化炭素排出量	237,356	236,169
収集運搬量1tあたり (kg-CO ² /t) ☆	59.3 (100.0%)	59.0 (99.5%)
軽油消費量(ℓ)	62,634	62,320
収集運搬量1tあたり (ℓ/t) ☆	15.6 (100.0%)	15.5 (99.5%)

② エコドライブの運転取組

↓ 勉強会の様子



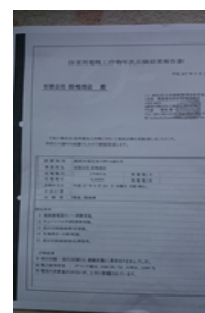
「エコドライブ10のすすめ」カード化（細分化）し、毎週カードを交換してドライバーの意識付けを強化する。

③ 電力使用設備稼働の効率化

（一般社団）中部電機管理技術者協会会員による事業者へ委託して、「自家用電気工作物年次点検」を実施した。

点検の結果、電力使用に関して異常はなく、上手に節電できているとの診断結果を得た。

点検結果報告書→



[2] 評価・結果

① 環境目標（環境効果指数）の策定

収集運搬量の増減が軽油使用量の増減と連動した結果となった。収集運搬量1tあたりの軽油使用量について状況が把握できたことから、今後はエコドライブがどれだけできているかの指標となりうる。(P13 評価の欄参照)

☞ 前年度対比：収集運搬量 96.4%、軽油使用量 96.4%

② エコドライブの運転取組

ドライバーに意識の定着がみられ、軽油使用量・ガソリン使用量ともに削減目標が達成できている。今後も定期的に確認を行う。

③ 電力使用設備稼働の効率化

専門家に診断により、漏電の有無等安全確認ができたことは大きな成果である。今後も定期的に診断をお願いしていく。

④ 中間処分の実施状況

搬入された廃棄物はなるべく再資源化できるように自社での中間処理を施すと同時に、再資源化を業とする事業者を選定し処分後の廃棄物を委託している。

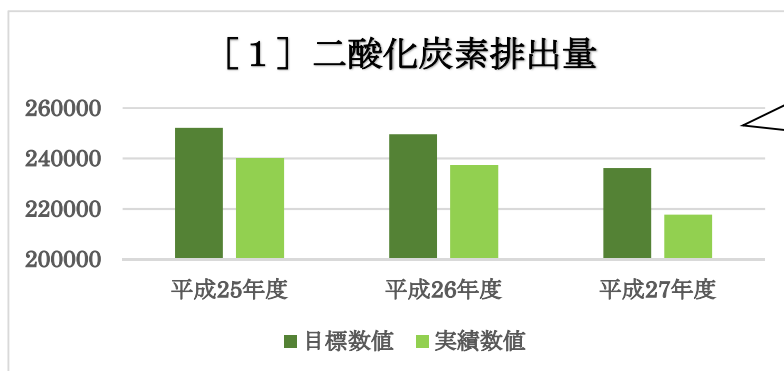
(i) 受託した廃棄物の処理の流れ

	品 目	収集	処理	中間処理	行き先	再資源化	最終処分
産 業 廃 棄 物	木くず	○	○	破碎	許可業者へ委託	チップ材（燃料化）	—
	ガラス陶磁器 コンクリート	○	○	破碎	"	—	埋立
						再生石膏ボード材 セメント原料	—
	金属くず	○	○	圧縮 破碎 焼却	"	売却・鋼材原料	—
	—	焼却					
	廃プラ ペットボトル	○	○	圧縮	"	売却・ 石油製品原料	—
	廃プラ 発砲スチロール	○	○	溶融	"	売却・ 石油製品原料	—
	紙くず	○	○	圧縮	"	売却・製紙原料	—
	廃油	○	—	—	"	石鹼原料・肥料	—
空き瓶	○	—	手分別	(協) 静岡リサイクル事業	各種ビン類	—	
一 般	家庭系	○	—	—	静岡市清掃工場	—	焼却
	事業系	○	—	—	許可業者へ委託	再生利用	—
静岡市清掃工場					—	焼却	

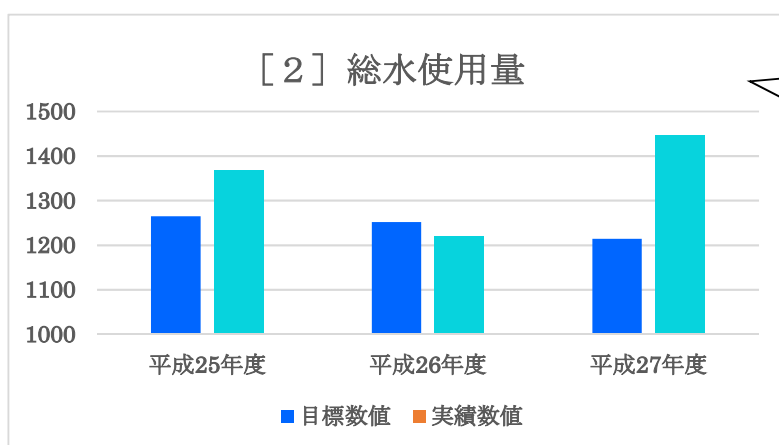
(ii) 平成27年度のリサイクル率

品 目	リサイクル率 %	備 考
廃プラ（ペットボトル・発砲スチロール）	100	ペットボトル・発砲スチロールは石油製品原料として再生利用されている。
廃プラ（混合物）	約96.1	廃プラ混合物の一部は燃料化されている。再生利用不可部分は焼却処分されている。（廃プラ量の約3.9%）
金属くず	100	有価性が高く、リサイクルにより鋼材原料となる。
ガラス・陶磁器・コンクリート 石膏ボード	約16.7	石膏ボードは再生石膏ボード材・セメント原料となる。劣化が激しく製品化が困難な石膏ボードとその他は埋め立て処分である。
紙くず	100	有価性が高く、リサイクルにより製紙原料となる。
木くず	100	チップ材として再生利用している。
廃油	100	植物油は石鹼原料・肥料として再生利用されている。
空き瓶	100	廃棄物ではないが回収を行い各種瓶に利用される。
家庭系一般廃棄物	—	静岡市から委託されており焼却される。
事業系一般廃棄物	—	許可業者へ委託し、再生利用されるものもある。

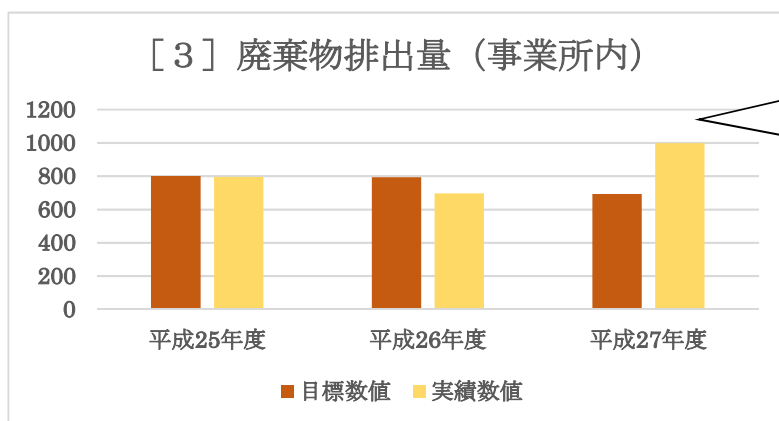
【② 環境目標の達成状況とその評価・結果】 平成 25、26、27 年度の推移



平成 25、26、27 年度ともに削減目標数値を達成している。今後もこの推移に注視する。



この3年間でみると、水使用量の一定性がみられない。次年度は使用量の増減について検討する。



平成 27 年度は廃棄物が増加した。適切な目標数値を検討する。今後も分別を徹底する。

活動内容	平成 27 年度実施状況
[4] 委託事業者の定期調査	主要委託事業者（中間処分業）に対して 2 回実施
[5] 契約事業者に対する分別指導	問い合わせに対して現地確認、電話による回答実施
[6] 中間処分後のリサイクル率向上	リサイクルに不向きな劣悪な状態の廃プラ混合、ガラス・陶磁器・石膏ボード以外は 100% のリサイクル率

【③ 平成 27 年度環境活動計画実施状況確認表】

7、11、3月
実施状況確認

	環境活動内容		実施責任者	担当者	平成 27 年 4 月～ 28 年 3 月												
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
I 二酸化炭素・水 廃棄物削減	①車両関係	ア エコドライブ運転取組	イ 燃料消費集計	望月啓市 内田青児	作業員全員	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 省エネ運転記録、ルート策定実施 OK		
		ウ 適正な収集ルートの策定	エ 車両の整備														
	②中間処分 施設関係	ア 焼却炉稼働記録	イ 電力使用設備稼働の効率化	長嶋明彦 勝呂美恵 内田青児	現場担当者	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 焼却炉運転記録表、周辺状況の確認 OK		
		ウ 冷却水管理	エ 作業安全確認														
オ 火気・臭気・騒音・粉塵・汚水確認																	
③水道関係	ア 地下水使用量集計	イ 水漏れ管理	勝呂美恵	勝呂美恵	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 集計表により確認 OK			
④事務所・ 休憩室関係	ア 電力消費管理（温度、照明、PC、コピー機）			南花子 勝呂美恵	現場担当者	○ 実施できている						△ 夏場の空調は作業効率を優先			○ 事務所の温度電気管理により OK		
	イ びん・缶・ペット分別計測	ウ 紙・厨芥ゴミ分別計測															
II 再資 源化	①	廃棄物処理量の把握		今村俊子	今村俊子	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 取りまとめ OK		
	②	委託事業者の調査実施（現地確認）		長嶋明彦	長嶋明彦	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 現地確認記録 OK		
	③	委託事業者選定に係る情報収集		長嶋明彦	長嶋明彦	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 随時情報収集 OK		
III 教育	①	環境教育の計画と実施		長嶋明彦	長嶋明彦	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 実施できている		
	②	緊急事態想定、手順書の策定と訓練実施		長嶋明彦	長嶋明彦	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 実施できている		
IV コミ ュニ	①	排出事業者との情報交換・分別指導		長嶋明彦	長嶋明彦	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 記録確認により OK		
	②	苦情処理受付記録		長嶋明彦	長嶋久美子	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 苦情処理簿により OK		
	③	環境活動レポートの公表（HPへアップ）		長嶋明彦	長嶋千代乃	×						○ 実施できている			○ 実施できている		
V 保全	①	騒音測定記録		内田青児	内田青児	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 測定記録により OK		
	②	駐車場の点検清掃		内田青児	吉村孝彦	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 清掃記録により OK		
VI 調達	①	環境配慮型車両の導入検討		社長	社長	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 随時確認 OK		
	②	グリーン購入の検討実施		社長	社長	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 随時確認 OK		
VII 法令	①	法令確認、マニフェスト管理		長嶋久美子	長嶋久美子	○ 実施できている						○ 実施できている			○ 法令確認 OK		
	②	エコアクション21関連記録・文書とりまとめ		長嶋久美子	長嶋久美子	○ 実施できている						○ 実施できている			○ とりまとめ OK		

【④ 問題点の是正処置及び予防処置の結果】

環境経営システム全般の運用状況をガイドラインで要求する 13 項目に沿って確認し、問題点及び予防処置、改善策等を表記した。

環境経営システム ガイドライン要求事項	現状の取組内容等	是正処置 予防処置
(1) 対象組織・ 活動の明確化	対象組織は当社全体であり、実施体制は環境経営システム組織図に示すとおり、社長、環境管理責任者を軸に各部門に環境活動を行っている。	
(2) 環境方針の策定	エコアクション21の必須条項を盛り込み、当社の事業活動に適合した内容としている。特に、受託した産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率の向上に重点を置いている。	
(3) 負荷・取組状況把握 及び評価	自己負荷チェック表及び取組の自己チェック表により把握している。	
(4) 環境関連法規等 のとりまとめ	当社が関連する法規を一覧表にとりまとめ定期的に遵守状況や改正がないか確認しているが、改正については日常から情報収集に努めている。	
(5) 環境目標及び 計画の策定	環境方針に基づいて環境負荷項目は数値化により削減目標を設定し、数値化が適切でないものは実行することを目標としている。目標達成のための具体的は活動計画を立てている。	
(6) 実施体制の構築	負荷発生箇所は収集運搬車両の運行、中間処分業及び事務所である。実施体制はこの部門の責任者を軸に行っている。	
(7) 教育訓練の実施	毎月1回、事業活動全般に係る会合を実施する予定になっており、その際に合わせて環境活動に関する事項も検討している。	(i) 参照
(8) 環境コミュニケーション の実施	当社のホームページに環境活動レポートを掲載している。新規収集依、苦情処理等コミュニケーション記録を残している。	
(9) 実施及び運用	各環境活動は日々の業務の中で取り組んでいる。目標が達成できなかった項目はその原因と対応について次年度に生かせるようにしたい。	(ii) 参照
(10) 緊急事態の準備 及び対応	過年度には工場内での作業時の事故について、発生予防するための訓練を実施している。重機の運転者だけでなく、作業員や直接作業に関わらない者も、安全確認を行うことを徹底し、事故を発生させないことを認識した。	(iii) 参照
(11) 文書及び記録の作 成・管理	環境経営システムに文書管理一覧を備え、保存期間を設定し、適切に管理している。	(iv) 参照
(12) 取組状況確認評価	環境負荷項目についてはデータを保管し、年度末に集計している。	
(13) 代表者による体 の評価と見直し	環境活動全般について、特に実績の評価、取組状況等把握し、是正改善が必要な項目についての見直しを行い、次年度につなげている。	

(i) 勉強会（社員教育）

社内で実施する勉強会だけでなく、一般廃棄物処理業協同組合が実施する研修会に社員を参加させることで、同業者に必要な知識を習得できる。今年度実施された研修会は車両に関する点検等であったため、実践に生かせることができた。今後も積極的に外部研修に参加することを検討する。

(ii) 目標が達成できなかった項目について

ア 購入電力

（一社）中部電機管理技術者協会会員の事業者へ委託し、自家用電気工作物年次点検を実施した結果、問題点はないとの診断を受けた。中間処理工程の電力消費量は、搬入された廃棄物量に左右されるため、今後も作業効率の良い稼働を実施する。また、事務所及び休憩室の温度管理や照明器具、電気機器の使用についてもこまめな電源の管理を行う。

イ 水使用量

廃プラスチック（発砲スチロール）の溶融工程で冷却のために水が使用されており、これらも廃棄物処理量に左右される場所である。使用後は水漏れが発生しないように点検及び注意を促す。

ウ 廃棄物排出量（事業所内）

元々の排出量が多いわけではなく、正確な測定を行った結果のため、今後は現状維持を目標とすることを検討する。

(iii) 緊急事態の準備及び対応について

今年度は緊急訓練を実施できなかった。社員の入れ替えもあり、周知を図るために次年度は実施する。

(iv) 文書管理 ※ 記録シート・文書一覧（抜粋）

分野	内容		
教育・訓練	教育記録	緊急事態訓練記録	
調査	現地確認記録	現地確認計画	
コミュニケーション	コミュニケーション記録	苦情処理簿	エコキャップ活動集計
事業実績	廃棄物処理量取りまとめ表	リサイクル廃棄物処理量	金属くず回収実績
事業負荷記録	日常点検チェックシート	燃費消費量集計表	車両運転取組
	地下水使用量集計表	焼却炉稼働記録	事務所温度管理
	毎日電気使用量	月別電気使用量	騒音測定記録
	コピー用紙使用実績	一般廃棄物排出量調査	
安全確認記録	消火器配置図点検記録	駐車場清掃記録	
その他	環境法令情報収集記録	従業員名簿	車両名簿

【⑤ 平成 28 年度環境活動計画表】

	環境活動内容		実施責任者	担当者	平成 28 年 4 月 ~ 29 年 3 月												
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
I 二酸化炭素・水 廃棄物削減	①車両関係	ア エコドライブ運転取組	イ 燃料消費集計	望月啓市 内田青児	作業員全員	運行前に車両整備、ルート確認 運行後に省エネ運転取組の自己チェック表記入											
		ウ 適正な収集ルートの策定	エ 車両の整備														
	②中間処分 施設関係	ア 焼却炉稼働記録	イ 電力使用設備稼働の効率化	長嶋明彦 勝呂美恵 内田青児	現場担当者	作業開始前、作業中、作業後に確認、稼働記録への記入											
		ウ 冷却水管理	エ 作業安全確認														
オ 火気・臭気・騒音・粉塵・汚水確認																	
③水道関係	ア 地下水使用量集計	イ 水漏れ管理	勝呂美恵	勝呂美恵	毎日 地下水メータ・水漏れ確認、集計表への記入												
	ウ 紙・厨芥ゴミ分別計測																
④事務所・ 休憩室関係	ア 電力消費管理（温度、照明、PC、コピー機）		南花子	現場担当者	毎日 使用時確認												
	イ びん・缶・ペット分別計測	ウ 紙・厨芥ゴミ分別計測	勝呂美恵														
II 再資源化	①	廃棄物処理量の把握		今村俊子	今村俊子	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	
	②	委託事業者の調査実施（現地確認）		長嶋明彦	長嶋明彦	委託事業者を年1回以上調査、情報収集は随時											
	③	委託事業者選定に係る情報収集		長嶋明彦	長嶋明彦												
III 教育	①	環境教育の計画と実施		長嶋明彦	長嶋明彦			実施				実施					
	②	緊急事態想定、手順書の策定と訓練実施		長嶋明彦	長嶋明彦				実施					実施			
IV コミ ュニ	①	排出事業者との情報交換・分別指導		長嶋明彦	長嶋明彦	情報交換、苦情処理等 随時											
	②	苦情処理受付記録		長嶋明彦	長嶋久美子												
	③	環境活動レポートの公表（HPへアップ）		長嶋明彦	長嶋千代乃					UP							
V 保全	①	騒音測定記録		内田青児	内田青児	騒音測定			騒音測定			騒音測定			騒音測定		
	②	駐車場の点検清掃		内田青児	吉村孝彦	毎日										▶	
VI 調達	①	環境配慮型車両の導入検討		社長	社長	随時										▶	
	②	グリーン購入の検討実施		社長	社長	随時										▶	
VII 法令	①	法令確認、マニフェスト管理		長嶋久美子	長嶋久美子	毎月										▶	
	②	エコアクション21関連記録・文書とりまとめ		長嶋久美子	長嶋久美子	毎月										▶ 集計	

7、11、3月
実施状況確認

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違反・訴訟の有無

[1] 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は無い。

尚、法規においては、改正に関する定期的な確認を行い、日頃から情報収集に努める。

遵守状況確認 平成28年9月30日現在違法なし

対象の事業	法令・条例・規制	適用・対象規制基準等	具体的内容等
一般廃棄物 産業廃棄物 収集運搬業	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律	廃棄物排出事業所との 委託契約	契約書の締結
		マニフェスト	適正に各票を処理 関係票を5年間保管 車両ごとに交付
		不法投棄禁止	不法投棄を行わない
		廃棄物飛散悪臭の予防	適法な輸送・カバー等をかけて予防
	静岡県・静岡市・浜松市・ 山梨県産業廃棄物の適正 な処理に関する条例	産業廃棄物適正管理	条例の遵守 県外産業廃棄物搬入事前協議及び 搬入状況報告
	家電リサイクル法	委託契約書作成	排出事業者との契約書の締結
産業廃棄物 中間処分業	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律	第15条第1項に規定す る処理能力基準以下	産業廃棄物処理施設の処理能力（廃プラ5 t/日を超えるもの、廃油焼却 200 kg/H を超えるもの）以下のため対象外施設であ るが、地域住民に対し配慮する
	静岡県・静岡市・浜松 市産業廃棄物の適正な 処理に関する条例	処理業者の不適正な処 理の防止	条例の遵守 処理実績報告書の提出 委託先の調査及び排出事業者の調査受入
	騒音規制法	静岡県生活環境の保全 に関する条例・施行規 則	いずれも対象外施設であるが地域住民に 対し配慮する
	悪臭防止法		
	大気汚染防止法（粉塵）		
振動規制法			
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力	エコアクションへの積極的な取り組み
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	エコアクションによる目標実現
	循環型社会形成 推進基本法 （主にグリーン購入、 自動車リサイクル、 建設リサイクル法）	4Rへの努力 グリーン商品の購入 引き取り業者へ 引渡し	リデュース・リヒューズ・ リユース・リサイクルの推進 リサイクル料金の支払
	フロン排出抑制法	エアコンの点検	簡易点検の実施、
	消防法	火災の予防	パッカー車の火災予防

[2] 訴訟等の有無

過去三年間において関係機関からの指摘、地域住民等利害関係者からの訴訟は無し。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

事業年度終了後、下記事項について確認した。確認事項を踏まえて、見直し及び改善点について指示を行う。

【見直しに必要な情報と確認事項】

	事 項	確認
1	環境目標の達成状況	○
2	環境活動計画の実施及び運用結果	○
3	環境関連法規等の遵守状況	○
4	外部からの環境に関する苦情や要望等	○
5	環境経営システムの運用状況及び結果	○
6	問題点の是正の処置及び予防処置の結果	○

【見直し必要性の有無】

項 目	改善点及び指示内容
1. 環境方針 ⇒見直し不要	ガイドラインが示すとおり、当社の事業活動に見合ったものであり、環境への取組の基本的方向が明示された内容となっている。特に、産業廃棄物の再資源化・リサイクル率向上・適正処理は当社の事業活動において重要課題であることから、環境方針に取り入れている。平成24年2月に改定を行っており、現時点で適正な環境方針である。
2. 環境目標 ⇒見直し不要	現在の環境目標は、数値化できるものは平成26年度実績を基準に短期・中期削減目標を立てている。また、合わせて一部環境評価指数に基づく目標設定を行っており、次年度以降も同様に行う。なお、数値化できないものや該当しないものは従来どおりの形で目標設定を行う。
3. 環境活動計画 ⇒見直し必要	収集運搬や中間処分等日々の業務に係る環境活動計画は、一定の流れに沿って行われるため、比較的スムーズである。環境活動を行うための記録シートにより業務を遂行している。今後、簡素化できるものはできるだけ簡便に行い負担を軽減することも考慮する。
4. 環境経営システム ⇒見直し必要	環境経営システムは、計画の策定(Plan)、計画の実施(Do)、取組状況の確認及び評価(Check)、全体の評価と見直し(Action)が連携し機能することにより環境活動の継続的改善に導く仕組みであり、どのパーツが欠けても正常に機能しない。上記3のとおり、環境活動計画の見直しを行う。

【代表者全体総括】

近年は異常気象を体感することが多く、地球温暖化がひとつの原因であると誰もが認識しております。生活者としての個人だけではなく、事業を営む者が、環境に配慮した活動を心がけていかなければならないことは必須であり、特に廃棄物処理業者はリーダーシップをもって日々の事業活動に当たらなければなりません。

当社は、産業廃棄物並びに事業系一般廃棄物及び市から委託を受けた一般家庭ごみの収集運搬を行っております。産業廃棄物は、自社で中間処分施設を有し、破碎・圧縮・溶融によりリサイクル率を高め廃棄物の減量を心がけております。「生かせば資源・捨てればゴミ」をポリシーにクリーンな地域づくりと快適な生活のお手伝いをしたいと考えております。

平成26年5月にエコアクション21に認証されたことにより、環境と経済の共存、安全対策など色々な角度から事業経営を考えるチャンスを得ています。環境経営システムをしっかり循環させ、一層の資源の有効活用や環境負荷の削減を行うことの重要性を認識し、廃棄物処理業者として社会に果たすべき責任を重く受け止めております。社員に対し、廃棄物回収時の安全第一をモットーにお客様や付近の住民の方々にも配慮した環境教育を行い、これからも地域の発展に尽力していきます。

平成28年9月30日

有限会社 長嶋商店

代表取締役 長嶋 捷治

再資源化への取組

